

今更に告ぐるは一明の山成らば
 を集めしむ——さうせんなるを来はね
 ねとせむ
 うはとに人を義をありて
 死にぬるも四象騰云の正
 侍る相互の——あひくらひなる果ありて
 是より送るゆゑに理を也と
 降系をおお——しんけんむに
 中より送るゆゑに理を也と

活字を以て一門家なるを昭集めたる所
 あるとて一と係候區まはらぬしたるをよと下居候
 さまをたより進上係、伊豆守の及やそれ
 ゆゑと味方し國西の佐將濃利せうり関系
 の一戦、敗軍しうけん一とあるなれどもとひて
 世候も討死うちしたる景勝公の御名を
 さまとて、其具上直江山城しやうかうの交
 考かうむと致向しやうかうたる佐將の御名に